

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

小中学生の部

令和四年一月度 入賞句一覧

投句数 千四百八十二句



特選

長町 誠司 選

初雪が私とあなたを近づける

加茂郡川辺町 佐伯 衣緒里(中二)

とてもロマンチックで素敵な句です。「初」のつく季語は四季を通してありますが、圧倒的に多いのが新年です。新年になつて初めて見たり聞いたりするすべてがその年で「初」です。から理解できます。歳時記によると、その冬初めて降る「初雪」は冬の季語です。年によつて、地方によつて初雪が見られる日は違います。この句の「初雪」がクリスマススイブなら二人の距離はもつと縮まるかもしれません。

寒い寒い言う君が居る暖かい

加茂郡川辺町 都築 さやか(中二)

「寒い寒い」と言う君の近くに居るだけで暖かいと感じる作者の心情。こちらまで心が温まります。作者は知らないと思いますが、この句を読んだ瞬間、フランク永井という歌手の「おまえに」というタイトル曲の歌詞を思い出してしまいました。感受性が豊かで、人の気持ちを感知したり共感したりする能力に長けていると思います。上五を「寒い寒い」の七音にする、もつと分かりやすい句になると思います。

お正月おもちふくらむねがいごと

大垣市 中村 けいと(小二)

二年生の作者には、きつと大きな夢や願いごとがあるのでしよう。焼いているおもちが徐々に膨らんでくるように、お正月を迎えた作者の心の中の願いごともどんどん膨らんできたのでしようね。上五の「お正月」という新年の特別な祝意のある季語が、作者の素直な気持ちを表現する手助けとなりました。

秀逸

冬もみじ力出し切り赤くなる

大垣市 浅野 陽来(小六)

赤トンボ夕日にむかつてとびこんだ

大垣市 船田 康介(小二)

どんぐりを九つひろいたんじよう日

大垣市 橋村 空(小三)

オリオン座見てよと体を輝かす

加茂郡川辺町 小田 憩(中二)

ストーブで兄弟げんか冬の朝

大垣市 新居 茜音(小五)

北風がビュンと冬をひきよせる

加茂郡川辺町 古川 帆稀(中二)

だれもない一人で静かな年こしだ

大垣市 船戸 麻帆(小六)

墓まいりじいじの好きな水仙花

大垣市 神田 莉嘉(小六)

雪達磨あなたは何をみているの

大垣市 伊藤 陽一(小六)

ゆきとけてなくしたかぎが見つかった

大垣市 國本 新太(小二)

